

働く世代のオーラルヘルス推進事業について（令和5年度開始）

1 背景

本市では、高校卒業後から40歳までは歯科健診が任意となるため、若い就労世代（20～30代）において、歯科医療機関に行く機会を失いがちとなること、歯科健診の受診状況等が把握できていないことなどの課題があった。

ついては、若い就労世代を対象に、歯科医療機関を受診するきっかけづくり及び歯科健診の受診状況等に関する実態調査、歯科口腔保健に関する普及啓発を行うこととした。

2 目的

生涯を通じた歯科健診の機会の確保に向けた取組みを推進し、かかりつけ歯科医による継続的な歯・口腔の健康管理等による歯科口腔保健の推進を図る。

3 実施内容及び実績

(1) 令和5年度

ア 歯周病リスク検査及び実態調査

- 令和5年度中に30歳に到達する市民8,050人に「郵送による歯周病リスク検査」の案内ハガキを送付し、先着500人を対象に検査キット及び啓発リーフレットを送付。

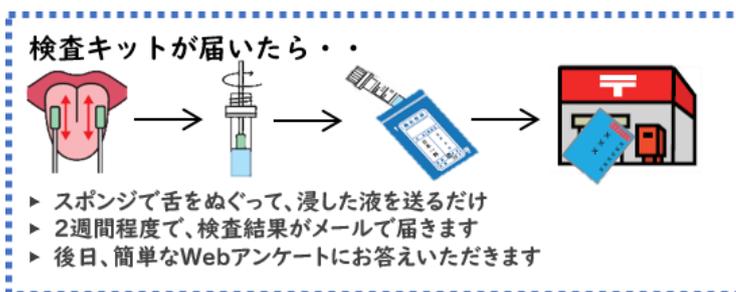


案内ハガキ



検査キット

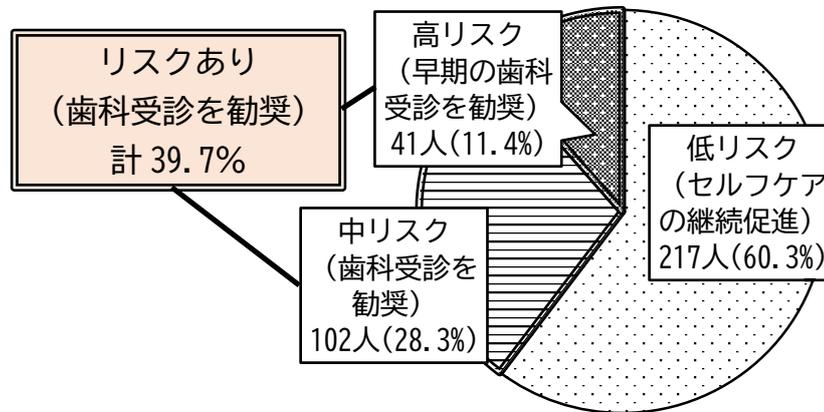
※使用キット：歯周病原因菌酵素測定試薬「ADCHECK®」



検査の流れ

- 検体を回収した360人(回収率72.0%)に対して検査を実施し、結果を電子メールで送付。

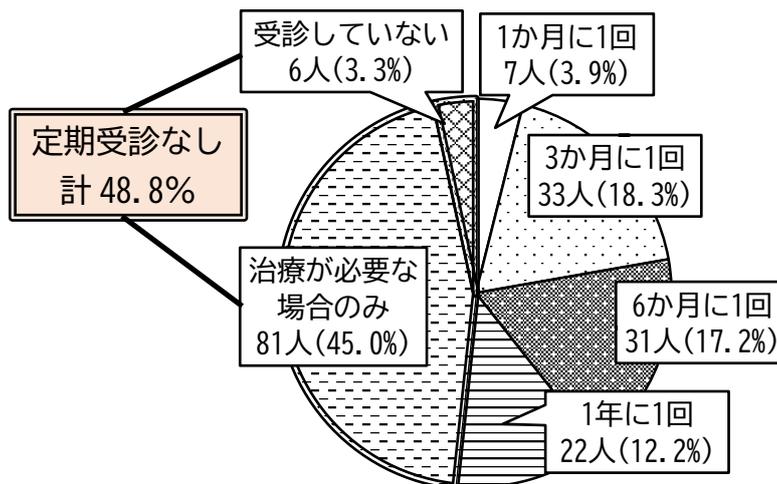
【検査結果】



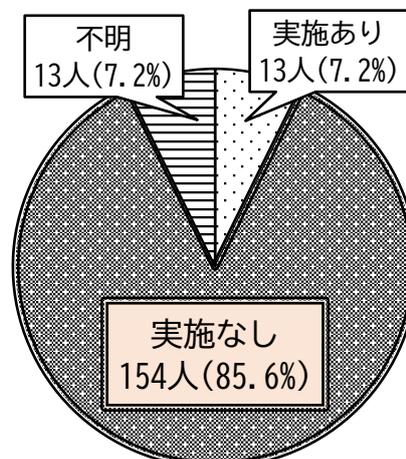
- 検査申込者500人に対してWebアンケートを実施。(回答者数180人・回答率36.0%)

【アンケート結果(概要)】

- ・ 定期的な歯科健診の受診状況

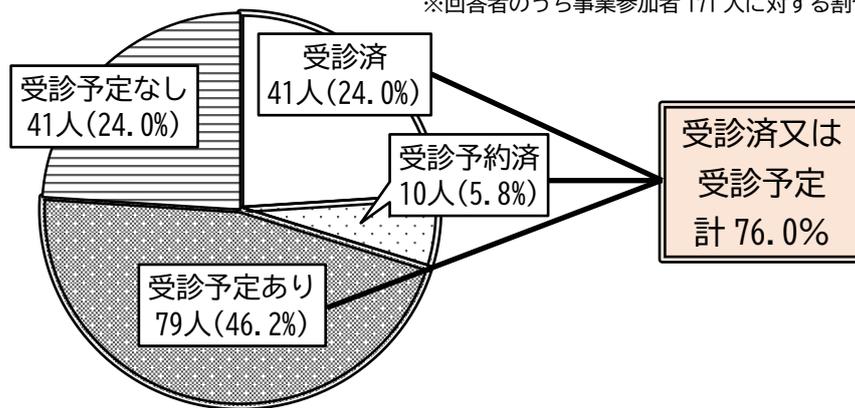


- ・ 職場における定期的な歯科健診の実施状況



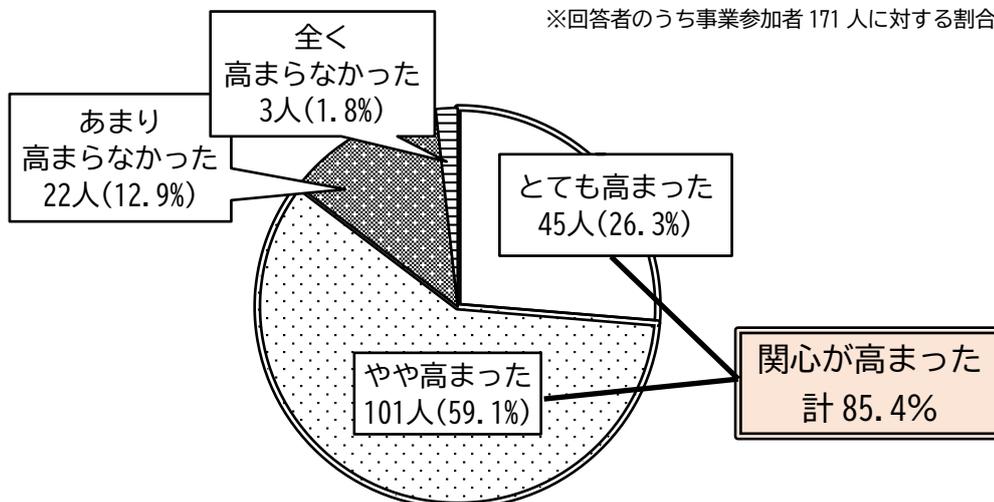
・ 検査実施後（事業参加後）の歯科受診状況

※回答者のうち事業参加者 171 人に対する割合を記載



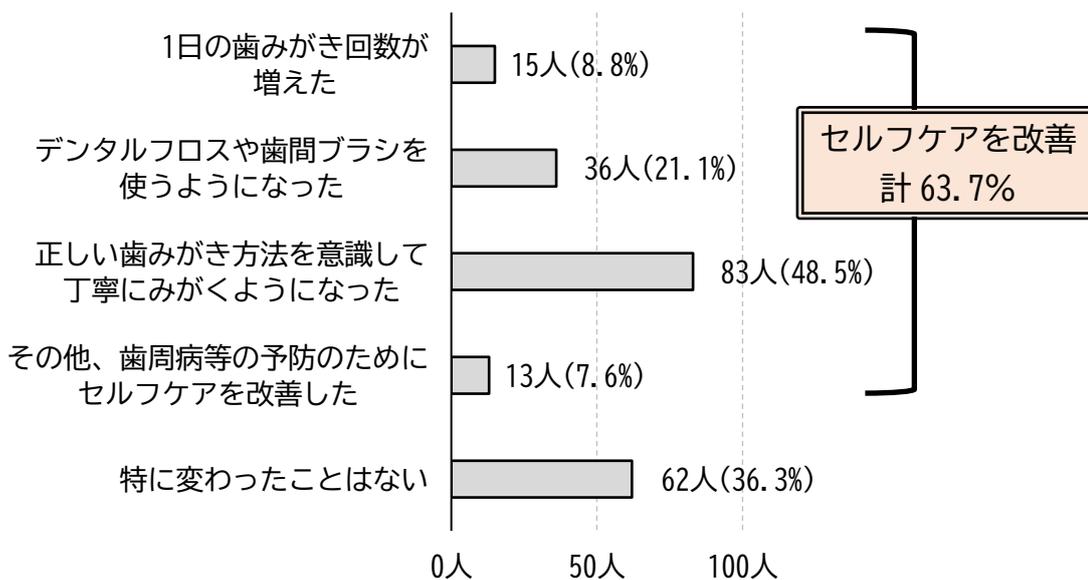
・ 検査実施後（事業参加後）の歯・口腔の健康づくりに対する関心の高まり

※回答者のうち事業参加者 171 人に対する割合を記載



・ 検査実施後（事業参加後）のセルフケアの変化（複数回答）

※回答者のうち事業参加者 171 人に対する割合を記載



イ 普及啓発

- 歯科口腔保健に関する啓発リーフレットを作成し、検査申込者や市の研修会参加者、医療機関等に配付。

作成： 20,000部

配布：約19,000部（令和5年度末時点）

（2）令和6年度

- 歯周病検診の対象年齢に30歳を追加
- 職域等を通じたリーフレットの配布等による普及啓発